



ザリガニは、どうしてはさみをもっているの

大きいはさみは、戦う武器

ザリガニは、全部で10本の足をもっています。頭のほうから順に、赤くて大きな目立つはさみと、先に小さいはさみがついた足を、二組（左右合わせて、6本の足）と、はさみのない足が4本あります。

大きなはさみは、敵と戦う武器です。まず、はさみをふりあげて、敵をおどします。人間も、指などをはさまれると、思わず痛くて、ザリガニをふり落としてしまいます。

同じザリガニの仲間どうしては、えさになる獲物の取り合いや、メスの取り合いで、はさみをふりあげ、おたがいに相手のはさみをつかんで、戦います。獲物をおさえつけるのにも使います。

よく使うのは、小さいはさみ

ただし、えさの、魚などをちぎって食べる時や、口にえさを運ぶのには、先に小さいはさみのついた、二組の足を使います。大きいはさみは、大きくなりすぎたため、口にえさを運ぶことなどが、できなくなっているのです。

この足の先についた小さいはさみには、ブラシのような毛や、何かがさわったときに感じる、感覚毛などが生えています。

ザリガニは、足の先についた小さいはさみを、ブラシがわりにして、長い触角や、しっぽなどを、ていねいにそうじします。この小さいはさみで、砂をつまんで、砂浴びもします。
(監修・中山 周平)

